

ガス警報器(LPガス用)

型式 **XL-691**

取扱説明書〔保証書付〕

保証書

このたびは、ガス警報器(LPガス用)をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。なお、万一、本書を紛失されたときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



保証書の記入方法

※保証書の記入は必ずお読みください。

- この警報器はプロパンガス、ブタンガスなどの液化石油ガス（以下LPガス）を検知します。都市ガスをご使用のご家庭には、都市ガス用のガス警報器を設置してください。
- 不完全燃焼および酸素欠乏による中毒防止用ではありません。
- ガス漏れの発生を未然に防止する装置ではありません。ガス漏れなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ガス検知部にガスが到達しないときは、警報機能が働きません。
- 本機はマイコンメータ遮断用無線装置（RM-691）を使用して、マイコンメータなど外部機器と必ず連動してください。本機を単体で使用した際は、通信エラー表示が出ます。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●ガス検知部の故障：ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

5. ご使用方法

警告

- ⊘ 電源電圧AC100V以外で使用しないでください。過電圧を加えると過熱し、火災の原因になるおそれがあります。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

保証書

型式名 **XL-691**

このたびはガス警報器(LPガス用)をお買い求めいただきありがとうございます。この製品は高圧ガス保安協会検定に合格した警報器です。従って正常な使用状態で故障の心配はありませんが、保証期間中万一異常を生じた場合は、速やかに販売店に連絡し、本書を提示してください。次の要領で下記の者が点検または交換いたします。

- ・保証期間：警報器本体に表示された交換期限の期限内。
- ・保証の対象：保証は機体本体を対象とします。機体本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。
- ・保証適用：取扱説明書に基づき正常な使用状態で製造上の責任による故障の場合は無償で交換します。
- ・保証適用除外：以下の保証の適用除外項目に記載してある事項の場合。
- ・保守点検：警報器の異常等のお申し出がありました際に次の保守点検をいたします。

- 点検員を使用しての作動テスト。
- 誤報発生の有無の確認(聴取による)。
- 設置場所の適否についてのチェック。

(実施者)

(保証者)

(保証者)

(製造元) **新コスモス電機株式会社**

※保証の適用除外
この製品は保証期間内でも次のような場合、交換は有償となります。

- 使用者の故意または不注意によって生じた故障または損傷。
- 火災、水災、異常電圧、異常温度、異常雰囲気等の不可抗力による故障または損傷。
- 取付位置が不適切、高温多湿等著しく不適切な場所および浴室に取り付けた場合。
- LPガス以外のガス、水や煮こぼれ等の液体、動物物による故障または損傷。
- その他使用上の誤り、分解、改造されたもの、衝撃等による故障または損傷。
- 本書の提示がない場合、ただし本書は日本国内のみ有効です。
- 本体に販売者の記入のない場合。
- その他製造業者の責任によらない汚損、故障または損傷。
- 高圧ガス保安法に基づいて設置された警報器の場合。

1. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠️ **危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

⚠️ **警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠️ **注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。

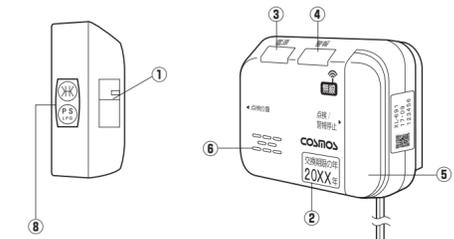
絵表示の内容		
「必ず行う」	「火気厳禁」	「ぬれ手禁止」
「水ぬれ禁止」	「分解厳禁」	「一般的な禁止」
「警告」	分解や改造はしないでください。故障の原因となります。	
「衝撃禁止」	衝撃を与えないでください。故障の原因となります。	

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

2. 各部のなまえとはたらき



① **ガス検知部および点検位置**
ガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。

② **交換期限表示**
警報器の交換期限が表示されています。

③ **緑(電源)ランプ**
通断は点灯しています。

警報器およびマイコンメータ遮断用無線装置が故障しているときや通信エラーしているときに高速点滅します。

④ **赤(警報)ランプ**
ガスを検知すると赤ランプが点灯します。

⑤ **警報停止スイッチ**
警報中にスイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。

⑥ **警報スピーカー**
ガスを検知すると警報音が鳴ります。

⑦ **電源プラグ**
消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは2.5mです。

⑧ **検定合格証**
高圧ガス保安協会の検定に合格した商品であることを証明しています。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

7. 部屋の外から警報音に気づいたときは

危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、速く入室しなしてください。爆発のおそれがあります。

⊘ **部屋に入らない。**
ドアや窓を開けて換気してください。

① **部屋に入らない。**
ドアや窓を開けて換気してください。

② **ガスメータ近くのメータガス栓を閉める。**
メータガス栓を開けるときは販売店にご連絡ください。

③ **ガスがなくなれば、警報音が停止する。**

④ **処置をしても、警報音が鳴りやまないときは**
販売店へ連絡してください。

ⓧⓧⓧⓧ **たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。**

※マイコンメータと接続している場合は、警報音が鳴ってから約25～35秒後にマイコンメータがガスをしゃ断します。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

●電池切れ：電池が消耗した場合、警報音が鳴りません。電池切れの原因は、次のとおりです。

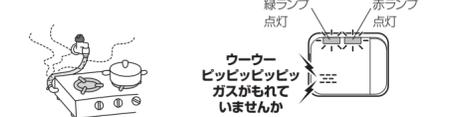
●通信エラー：マイコンメータ遮断用無線装置と本機との通信が正常に行われていない場合、通信エラー表示が出ます。

※本機は、ガス検知部が故障した場合、警報音が鳴りません。故障の原因は、次のとおりです。

3. ガス警報機能

ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。



① **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

② **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

③ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

④ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑤ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

⑥ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

⑦ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑧ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

⑨ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

⑩ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑪ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

⑫ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

⑬ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑭ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

⑮ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

⑯ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑰ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

⑱ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

⑲ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

⑳ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

㉑ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

㉒ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

㉓ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

㉔ **警報停止スイッチ**
警報停止スイッチを押すと、上記通信エラーメッセージを1回お知らせします。以降「ピッピッピッ」音は停止します。

㉕ **緑ランプ点滅**
緑ランプが高速点滅します。そのとき、「ピッピッピッ」音が鳴ります。その後約50秒おきに「ピッピッピッ」音が鳴ります。

㉖ **赤(警報)ランプ点滅**
赤(警報)ランプの点滅は、マイコンメータ遮断用無線装置との無線通信が良好であることを表しています。

㉗ **警報停止**

10. 点検方法

日常点検

- 日常点検は、ランプが緑色に点灯していることを確認してください。ランプが点灯していないと、ガスもれが発生しても警報を発生しません。
- 1ヶ月に1度、警報停止スイッチを押してマイコンメータ遮断用無線装置との無線通信の状態を確認してください。ご不明の場合は、販売店に連絡してください。

作動点検

警報器が正常に作動していることを確認するために、付属の点検ガス採取器による点検を行ってください。

点検される際は、施工説明の「ガス警報機能の点検」を確認してください。



- 点検ガス採取器は、おさまの手の届かない場所で保管してください。
- ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、「15.アフターサービス」をお読みください。
- 点検ガスをかけ続けしないでください。警報音が鳴りやまなくなることがあります。

11. お手入れのしかた

⚠ 注意

- ❗ 警報器をお手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがの原因となります。
- ❗ 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを取り除いてください。火災の原因となります。

🔧🧼🚰

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ペーパー、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤などを使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくランプが点灯したり、警報音が鳴りやまないことがあります。



〈取り付けてはいけない場所について〉
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- 振動、衝撃の激しいところ。
誤作動や故障の原因になります。
- 温度が-10℃以下または40℃以上になるところ。
誤作動や故障の原因になります。
- カーテンウォールなどで仕切られているところ。
警報が遅れる原因になります。
- 給排気口、通路ドア付近などの風通しのよいところ、すきま風が入るところ。
警報が遅れる原因になります。
- 台所設備などでさえぎられるところ。
警報が遅れる原因になります。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所。
感電や電氣的故障の原因になります。
- 屋外。
屋内専用です。
- 警報器に器物や煮こぼれ、水、油などが落ちるところ。
誤作動や故障の原因になります。
- 使用時しか電源を入れないところ（ビルなどの湯沸室で夜間電源を切るところ）。
警報器としての機能を果たしません。

3 取り付けかた

3-1 警報器を取り付ける前に

⚠ 注意

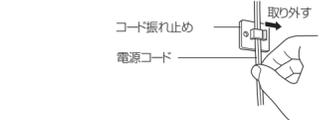
- 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報が遅れる原因になります。
- 取付位置の材質・強度を確認し、土壁や強度の弱い合板には取り付けしないでください。
- ピンを指し刺さないように、取り扱いには十分注意してください。取付強度を保持するため、ピンは根元まで確実に打ち込んでください。万一、ピンがゆるんだ場合は、取付位置をすらしてピンを付け直してください。



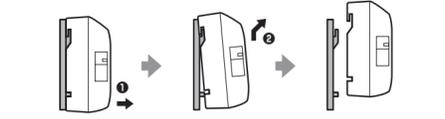
お手入れの際の警報器の取り付け・取り外し

〈取り外しかた〉

1 電源コードをコード振れ止めから取り外す。



2 取付板から警報器を取り外す。



〈取り付けた〉

1 取付板に警報器を取り付ける。



2 電源コードをコード振れ止めにはめ込む。



お手入れ

- 警報器の表面が汚れた場合は、水または石けん水で濡した布を、よくほってふき取ってください。取り付ける前に警報器がぬれていないことを確認してください。
- 電源プラグや取付付け面に付着したほこりをふき取ってください。
- ガス検知部に、ほこりやゴミがついていたら取り除いてください。



3-2 警報器の取り付け

⚠ 注意

- 警報器を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜いて、作業を行ってください。
感電・故障・誤動作の原因となります。
- 電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。
- 電源コードの上に重いものを置かないでください。
- 既存の金属製の取付板には取り付けしないでください。
無線通信に不具合が発生するおそれがあります。

おねがい

- 取付位置は、P.17「2-3 取付位置の確認」の正しい取付位置を守った上で、電源コードの距離・取付板に警報器を引っ掛けるための隙間などを確認して決定してください。
- 壁面または台所設備の端より、警報器左端を1cm以上離して取り付けてください。
警報の遅れの原因になります。

① 取付板を取り付ける。

〈木質壁・コンクリート壁の場合〉
取付板を付属の木ねじ（長さ10mm、2本）で壁面に固定する。
※コンクリート壁の場合は、市販のカールプラグを打ち込んで木ねじを使用してください。

〈タイル壁など木ねじが使用できない壁の場合〉

- 1) 取付位置のゴミや水気、油気などをふき取る。
- 2) 両面テープの片面のはくり紙をはがして取付板の裏側に貼る。
- 3) 取付板に貼った両面テープの、もう片方のはくり紙をはがして壁面に貼る。

〈石膏ボード壁の場合〉

取付板を付属の固定ピン（左右4ヶ所）で壁面に打ち込んで、固定する。



12. 故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑（電源）ランプが点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、「 ビッ ムータ側の無線機が電池切れです 」のメッセージが鳴る。	連動している無線装置の電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。
緑（電源）ランプが高速点滅している。	警報停止スイッチを操作したとき、「 ビッビッ ビッ 警報器故障です 」のメッセージが鳴る。	警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。
ガスの発生ではないのに、警報音が鳴る。	原因を調べてください。「 9. 異常がないのに警報音が鳴ったら、赤（警報）ランプが点灯したときの処置のしかた 」を参照。	処置をしても警報音が鳴りやまない場合は、警報器の故障が考えられます。販売店にご連絡ください。

13. 交換期限

- 交換期限を過ぎた警報器は、規定の警報ガス濃度で警報を発生しないなど誤動作のおそれがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。交換期限は、警報器本体に表示してあります。
- 警報器の交換期限を過ぎたときは、販売店までご連絡ください。

14. 廃棄について

本警報器の廃棄の際は、産業廃棄物として法令に従って廃棄してください。

15. アフターサービス

- 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「12.故障かな？と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
- 添付の保証書に基づき、保証期間は警報器本体に表示された交換期限の期限内となります。万一異常が生じた場合は、速やかにお問い合わせの販売店に連絡し保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店に連絡してください。
- 引っ越しをされるときは、販売店に連絡してください。



16. 仕様

項目	仕様	
対象ガス	LPガス	
検知方式	熱線型半導体式	
ガス警報機能	作動条件	*爆発下限界濃度の1/100以上1/4以下
	表示・発報方式	赤（警報）ランプ点灯
	応答時間	30秒以内
外部出力信号	無線信号 出力信号遅延時間約25～35秒	
警報音量	70dB(A)/m以上	
電源	AC100V±10% 50/60Hz	
消費電力、定格	監視時約0.7W、警報時約1.1W	
使用温度範囲	-10℃～+40℃（結露しないこと）	
寸法	幅85×高さ67×奥行30mm(突起部を除く)	
質量	約205g	
電源コード	長さ2.5m予備コンセント付プラグ	
付属品	取付板×1、木ねじ(φ3.1×10mm)×4、ピン×4、両面テープ×2、コード振れ止め×2 取扱説明書(施工説明・保証書付)、点検ガス採取器 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカー	
無線	特定小電力無線 (規格：ARIB STD-T108、920MHz帯)	

* 爆発下限界
爆発は、空気に対するガスの割合がある範囲になったときに起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。



施工説明【施工される方へ】

1 施工される方へのお願いとご注意

お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、この施工説明に従って指定された取り付けを行ってください。
- 取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。
- 取り付け終了後に、P.23「6-1 警報器の説明」P.23「6-2 お客さまへの周知事項」について、必ずお客さまに説明してください。
- 取り付け前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。

- ⚠ **警告** 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- ⚠ **注意** 作業を誤った場合に、取付作業者および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

⚠ 注意

- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因になります。
- 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けがはげない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤動作、故障の原因になります。



2 施工前の確認

2-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

取付板…1個	石膏ボードピン…4本	木ねじ（長さ10mm）…4本	取扱説明書（施工説明・保証書付）…1枚
コード振れ止め…2個		両面テープ…2枚	
点検ガス採取器…1個		警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカー…1枚	

2-2 保証書・警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーへの記入

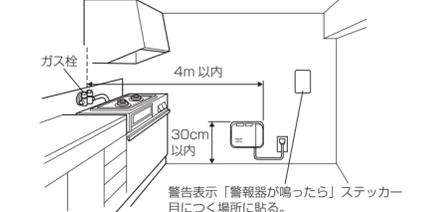
保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先を記入してください。警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーの所定の欄に、販売店さまの名称と連絡先を記入してください。警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーは、お客さまの目につく場所に貼ってください。

2-3 取付位置の確認

取付位置については、お客さまとよく相談して決めてください。

〈正しい取付位置について〉

- ガスもれを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内に設置すること。
- ガスもれが滞留しやすい位置、電源ランプの確認しやすい位置、容易に点検できる場所へ取付けること。
- 床面から30cm以内の高さで、ガス器具や元栓（ガス栓）の最も遠いところより水平距離で4m以内の場所へ取り付けてください。



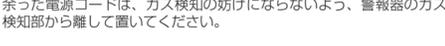
② コード振れ止めを壁面に固定する。



③ 電源コードをコード振れ止めにはめ込む。



④ 警報器を取付板に取り付ける。



おねがい

余った電源コードは、ガス検知の妨げにならないよう、警報器のガス検知部から離して置いてください。

4 取り付け後の点検

4-1 初期動作の点検

⚠ 注意

- ① 警報器の電源プラグをコンセントに差し込む。緑（電源）ランプがマイコンメータ遮断用無線装置と無線通信確立まで最大2分間ゆっくり点滅*1します。
※1：交換期限お知らせ機能を解除している場合は点滅します。
- ② 約30秒後に「警報器正常です 電波が受信できています」と鳴り、緑（電源）ランプが点灯し、警報器の監視状態に入ります。
※マイコンメータ遮断用無線装置と無線通信確立できなかった場合は緑（電源）ランプが高速点滅し、「ビッビッビッ ムータ側の無線機が電波が受信できません」と鳴ります。
※警報器が故障の場合は緑（電源）ランプが高速点滅し「ビッビッビッ 警報器故障です」が鳴ります。販売店に連絡してください。



4-2 無線通信確認

下記の要領でマイコンメータ遮断用無線装置との通信状態を確認することができます。

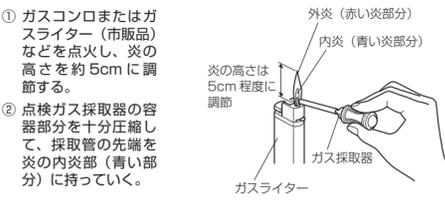
- ① 警報停止スイッチを1秒間押すと緑（電源）ランプが点滅し「ビッ」と鳴ります。
- ② 「警報器正常です 電波が受信できています」が鳴り、その後に電波の強度に応じて下記の3種類の音が鳴ります。
【電波強度】
電波強度（強）：「ビービービー」
電波強度（中）：「ビービー」
電波強度（弱）：「ビー」
※電波強度（中）（弱）ですと条件によっては通信エラーを起こす場合がありますので、電波強度（強）で使用してください。
※通信エラーの場合は「ビッビッビッ ムータ側の無線機が電波が受信できません」が鳴ります。
通信状態が良好になるよう警報器またはマイコンメータ遮断用無線装置を移動してください。

4-3 ガス警報機能の点検

【ガス採取方法】
準備いただくもの：点検ガス採取器（付属品）、ガスコンロまたはガスライター（市販品）

⚠ 注意

- 付属の点検ガス採取器以外は、絶対に使用しないでください。
- 点検したガスを体内に吸引しないようご注意ください。吸引すると、中毒症状を起こす場合があります。
- 採取したガスは、ガス警報機能の点検以外には使用しないでください。
- ガスを採取した直後の採取管は、絶対に触らないでください。採取管を長時間加熱しないでください。やけどをしたら、ガス採取器が破損するおそれがあります。
- 採取管を主成分とした点検ガスおよびライター式の点検ガス（アルゴス）は、使用しないでください。センサ異常またはセンサ故障の原因になります。



- ③ 容器の圧縮をゆっくり（約3秒程度）ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引する。
- ④ 採取管の先端部分の温度が下がるまで（約30秒程度）待った後、点検口にゆっくり（約3秒程度）ガスを注入する。



⚠ 注意

点検ガス採取器の先端を点検口の中に差し込まないでください。故障の原因となります。

- ⑤ 赤（警報）ランプが点灯して警報音が鳴れば、正常です。
※ガスを注入しても、警報を発生しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。それでも警報を発生しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。

4-4 簡単点検機能でのマイコンメータとの連動確認

電源プラグをコンセントに差し込んでから約4分30秒間は、簡単点検機能が働いています。マイコンメータにしゃ断信号を即時で出力するため、連動確認が容易に行えます。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込んだ後、警報停止スイッチを押すと「ビッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始、そのまま3秒間押し続けてください。「ビッビッ」と開始音が鳴ります。
- ② 警報停止スイッチを離すと以下のように作動します。

動作順	音声内容	ランプ	
		緑（電源）	赤（警報）
1	ウーウービッビッビッビッ ガスがもれていませんか	点滅	点灯
2	なし	点灯	消灯

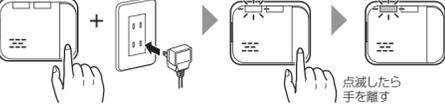
- ③ 警報音が鳴りやんだ後、P.21「4-3 ガス警報機能の点検」を行ってください。
- ④ 警報器が鳴り、即時にマイコンメータにしゃ断信号を出力します。
- ⑤ 約10秒後に、マイコンメータがガスをしゃ断します。
※接続されているマイコンメータが集中監視を行っている場合、集中監視元まで警報があがりますのでご注意ください。
※電源プラグをコンセントに差し込んで約4分30秒以降は、ガス警報器が鳴ってから約25～35秒後に、警報器がしゃ断信号を出力します（通常動作）。



5 交換期限お知らせ機能を解除する場合

出荷時、交換期限お知らせ機能が働いています（警報器の交換期限を過ぎたことをランプの緑色の点滅でお知らせする機能です）。機能を解除する場合は、警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。ランプが緑色に速く点滅し、約30秒後に点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。

※機能有りに戻す場合は、同じ手順を繰り返してください。機能の変更（有り・無し）は何度でも可能です。警報停止スイッチを押しながら電源プラグを差し込む



6 お客さまへの説明について

お客さま立ち会いのもとでの点検が終わったら、必ずお客さまに以下の説明を行い、ご理解を得てください。

6-1 警報器の説明

- ① 警報動作および点検結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③ 取扱説明書の保管をお願い。
- ④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. ガス警報の内容（赤（警報）ランプ点灯、警報音の確認）と、警報時にとるべき処置の説明。
 2. 部屋の外にいて、警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
 3. マイコンメータ連動機能の説明。
 4. 誤報が発生する原因と処置の説明。
 5. 異常発生時（故障、電池切れ）の内容（緑（電源）ランプ点滅と音声合成音の確認）と処置の説明。
 6. 警報停止スイッチの説明。
 - 機器故障音声機能
 - 電池切れ音声機能
 - 交換期限切れ音声機能
 - 通信エラー音声機能

6-2 お客さまへの周知事項

- ① 警報器の交換期限のお知らせ（本体に表示）。
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお知らせ。
- ④ 警報器の移設禁止（移設依頼時の連絡先）。
- ⑤ 警報器の分解禁止。
- ⑥ 引っ越し時の処置。
- ⑦ 故障・異常時の連絡先。

